

意見表明

9月30日の決算審査特別委員会では、5分科会の審査概要について報告が行われた後、5人の委員が会派を代表して意見表明を行い、採決の結果、各会計決算を原案どおり可決・認定しました。各会派の意見表明の概要は次のとおりです。(通告順に掲載)

- ※1 将来負担比率：1年間の収入に対する将来市が負担する借金の割合
- ※2 健全化判断比率：1年間の収入に対する赤字額や借金残高の割合を示した4つの比率の総称
- ※3 実質公債費比率：1年間の収入に対するその年に払った借金返済額の割合

1 公明党千葉市議会議員団

「脱・財政危機宣言」解除に向けた取り組みを評価

今後も厳しい財政状況が続くものの、将来負担比率※1等が改善され、「脱・財政危機宣言」解除への環境が整いつつあり、財政健全化への取り組みの一定の効果があらわれています。また、少子・超高齢化対策など喫緊の課題への対応とともに、地域経済の活性化など将来を見据えた施策がなされていること、市民福祉向上への取り組み、再生可能エネルギーの活用推進などの確な施策展開がなされていることを評価します。

2 日本共産党千葉市議会議員団

市民生活を顧みない決算は不認定

実質収支は45億4千万円の黒字となりましたが、予算編成当初には収支不足を示して市民生活の予算を削り、黒字の活用によるその後の削減見直しもされませんでした。また、財政健全化を理由に市民と職員へ負担を強いながら、大型公共事業に支出しています。さらに、市長には、国民生活を苦しめる安倍政権の暴走に立ち向かう姿勢が見えません。これらの理由から、決算を不認定と致します。

3 自由民主党千葉市議会議員団

厳しい財政状況、一部評価はするが課題は山積、改善を求める。

一般会計決算は、景気回復で市税等が予算に比べ増額となり、45億円の実質収支を確保しました。しかし、歳入には、退職手当債や禁じ手といわれる市債管理基金の借入れが合わせて32億円含まれています。また、国保会計では依然として77億円と現市長の元で累積させた多額の赤字があり、決して状況は良くなっていません。今後も財政健全化への取り組みを強く進めていく必要があります。

4 未来民進ちば

財政健全化を進め、将来を見据えた積極的投資を

一般会計決算は、昨年度を上回る黒字が確保され、健全化判断比率※2や実質公債費比率※3も改善されるなど、財政健全化への取り組みの効果があらわれており、高く評価します。住民サービスの向上、高齢者・子育て支援、地域経済活性化の各施策についても推進が図られています。今後も財政健全化を着実に進める一方、将来を見据えた投資を積極的に行い、より一層の市民生活の向上を図るよう要望します。

5 市民ネットワーク

市民参加と協働を着実に進めることを求め認定

財政健全化への取り組み、住みやすい千葉市の実現に向けた施策、市民参画が図られたかを審査し、未達部分はあるものの、方向性は理解できるため認定としました。財政状況はいまだ厳しい状況ですが、各種個別の事業を評価し、今後の充実を期待します。少子・高齢化や人口減少が進む中での厳しい市政運営ですが、当事者の声を積極的に聞き、市民参加と協働を着実に進めることを求めます。

市長に提出した指摘要望事項

5つの分科会審査の結果、まとめられた10項目の指摘要望事項を市長に提出し、市政運営に反映させるとともに、反映状況を報告するよう求めました。

① 財政 については、財政健全化判断比率が改善するなど、財政健全化に向けた取組効果があらわれてきているが、国民健康保険事業累積赤字や基金借入金残高などの債務は依然として多額であることから、引き続き、第2期財政健全化プランに掲げる主要目標の達成に向けた取り組みを着実に推進されたい。

② 防災対策 については、過去の大規模災害において、避難所における生活関連物資の過不足や仮設トイレの確保などが課題として挙げられていることから、首都直下地震に備え、防災備蓄品の整備促進に加えて、物資の円滑な調達と物流が行われるよう関係団体との連携の強化を図るとともに、家庭内備蓄の普及啓発にも努められたい。



熊本市で活動する本市の派遣職員

③ 高齢者施策 については、高齢化の進展を見据え、早期に地域で支える仕組みづくりが肝要であることから、地域包括ケアシステムの構築に向け、さらなる全学的な取り組みを推進されたい。
また、高齢者の生きがい対策については、介護予防や認知症予防などの健康づくりと密接に関連することから、現状の枠組みにとらわれず、さらに推進されたい。

④ 救急体制整備 については、救命講習の受講者数は増加しているにもかかわらず、実際に応急手当を行うことができたバイスタンダーは少ないことから、創意工夫を凝らし、さらに実践に役立つ内容となるよう、救命講習の充実強化に取り組み、救命処置を行うことができるバイスタンダーの養成に努められたい。



救命講習会の様子

⑤ 障害者スポーツの推進 については、多くの障害者が健常者と同様に、多種多様なスポーツに触れられるよう、指導員のさらなる養成と確保に努めるとともに、施設におけるバリアフリー化の推進など、環境整備の充実を図られたい。



パラリンピアンによる学校訪問

また、パラリンピックを契機とし、市民への普及啓発活動を積極的に展開するなど、障害者スポーツへの理解の促進につながる施策の拡充に取り組まれたい。

⑥ 労働対策 については、就業ポータル事業や合同企業説明会をはじめとした各種取り組みの充実のもとより、成果目標を明確に設定した上で、事業実施後においてもアンケート調査等による就労・雇用状況の把握に努めるなど、施策の評価・検証を十分に行い、より実効性の高い就労促進と市内企業の人材確保支援に取り組まれたい。

⑦ 社会的養護の推進 については、里親制度等への社会的認知・理解の促進はもとより、担い手の確保や里親支援に向けた各種団体とのネットワーク構築のほか、施設における家庭的養護の推進も見据え、計画的な施策展開を図られたい。また、子どもの健全な発達には、より早期から家庭的な環境で養育することが望ましいことから、新生児期からの里親委託や特別養子縁組の促進を検討されたい。

⑧ 放課後子ども教室 については、学校支援地域本部などの学校を基盤とする関連施策とも有機的な連携を図りつつ、より多くの児童がさまざまな活動に参加できるよう、運営を担うボランティア人材の発掘・育成のほか、魅力的なプログラムの充実や、コーディネーター同士の情報共有を図るなど、学校と地域との連携・協働による持続可能な子どもの居場所づくりを総合的に推進されたい。



放課後子ども教室の様子

⑨ 千葉都心地区の活性化 については、千葉駅ビルの開業や大型商業施設の相次ぐ撤退が予定されていることから、策定された千葉駅周辺のランドデザイン等に基づき、関係部局とも連携しながら、効果的な施策の早期展開を図られたい。

⑩ 動物公園 については、ライオンの導入やふれあい動物の里の整備を行ったところであるが、引き続き園の魅力を向上させる取り組みを実施して、来園者数や寄附等のさらなる増加を図り、一層の収支の改善に努められたい。



千葉市動物公園で展示されているライオンのアレン